Kosa Style

華やかな甲佐の夏祭り竹に刻んだ光の芸術が彩る

して模様や絵を描き、内側かがたい」と話すのは、「おおいであかり」実行委員の園田いであかり」実行委員の園田があかり」ま行委員の園田があかりが照らすやわら

いる。 の電球などを灯す灯籠やそれら電球などを灯す灯籠やそれのりに出展する竹あかりを制でして8年目。 園田さんは5年前から制作活動に参加して

佐でもできないか」と、制街道の風景に刺激を受け、

甲

に取り組む。

のが一般的だが、園田さんが

竹筒に大小の穴を開けるも

作るのは竹筒を数本束ねて光

 \triangleleft

もともと絵やイラストを描 り、「竹あかりで彩られた りが活動を始めたきっかけと のが活動を始めたきっかけと のが活動を始めたきっかけと

そのだ たかのぶ / 「おおいであかり」実行委員として竹あかり制作に取り組む。制作の参加希望は、町観光協会事務局まで。 1096-234-1154

園田 孝信さん Sonoda Takanobu

〔下横田区〕

祭りへ参加してみませんか_ さん。「作り手が増えれば、 もらいたいです」と語る園田 彩る甲佐の夏祭りを楽しんで を通して、活気ある祭りを取 もたれた方は、 も注目してください。 あゆまつりでは、 街を竹あかりでもっと華やか いただいた方には竹あかりが にできると思います。 に思います。竹あかりの制作 以上に人通りも多かったよう こ笑顔で制作に打ち込む。 戻したいです。 制作を通して 竹あかりに また、 今年の 興味を 来て

目指す。 になってしまいます。 えながら作らないと、 角度を微調整するのが難しい ることが大事です。 るには、どの角度から見ても 去の苦労を打ち明ける。 で何度も失敗しました」 切り抜いてしまい、 です」と苦心する。 を表現するために、 輪郭がはっきり切削されてい の絵を描く幻想的な野心作を つなぎ目として残す部分を考 完成のイメージを持って、 「一昔前のあゆまつりは今 「絵をきれいに見せ 輪郭だけ 切削する 光の魅力 誤って また、 これま

☑● こうさ

2018年(平成30年) 7月号 通巻588号